

森りょうじ リポート。(76号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

■“動く会派”へ。

私が初めて議席をお預かりした平成 15 年の頃と比べ、市議会内の雰囲気も大きく変わりました。世代や期数を超えて自由闊達に議論をする風土、積極的な ICT の導入など…。同時に議会活動の基盤でもある会派も変貌を遂げています。会派は共に学び、政策実現に向けて一緒に汗を流すグループ。今春の選挙を経て再結成された『流政会』は新人 5 名を抱える若手の集団ですが、毎週開催する勉強会や会議を経てチーム力も高まりつつあります。“動く会派”にご期待下さい！

■決算審査委員を務めました。

過去に使ったお金をチェックすることは議会にとって大きな役割の一つです。「使ったお金（決算）よりも、これから使うお金（予算）の方が気になる…」と言った声もありますが、チェックすることにより無駄の排除や効果的な使い方へと繋がっていきます。“予算重視”と言われる自治体財政ですが、委員を務めたことで決算の大切さを再認識しました。（次号で特集予定）

■最近の陳情・相談(8～9月) ※一例です。

公園整備関連や自治会活動支援についてなど

■ご報告とご案内

- ①成果：江戸川台 20 号公園付近の信号設置が実現！
- ②日程：平成 27 年第 4 回定例会⇒11/26～（予定）
- ③会報：77 号は駅頭・街頭での配布とホームページ上で掲載する対応です。（ポスティングは致しません）

○1976 年 6 月 12 日流山生まれ（39 歳）

※サラリーマン家庭（父は NTT に勤務）で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000 年 4 月 大成建設株式会社に入社（管理部ほか）

○2003 年 4 月 流山市議会議員に初当選（2,692 票）

○2011 年 4 月 流山市議会議員二期目当選（4,508 票）

○2015 年 4 月 流山市議会議員三期目当選（5,830 票）

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

○後援会事務所：流山市中野久木 559-2

討議資料

森りょうじ

森が動く。



流山市議会議員

討議資料

今年もたくさんの夏祭りを訪問しました。溢れる来場者、美味しい出店、華やかな装飾…。しかし多くの地域では高齢化により、お祭りの運営が難しくなっているそうです。そのような中で私も所属する地域では若い人が立ち上がりました。来夏に向けて、まずは様々な交流を図っています。

一般質問①

【流山市の将来像を描く。】

市役所の在り方も議論すべきでは？

将来の人口減少社会を見据えて、街を集約型にする“コンパクトシティ”の流れが進んでいます。幸運にも流山市は人口急増地域であることから、身近なテーマとは感じにくい部分もありますが、将来に向かってどのような街の姿にしていけるかは大きなテーマです。

行政運営の要でもある現総合計画（20年間のまちづくり指針）の最終年度（平成31年）が近づく中、次の10～20年間の計画づくりを行う際に、市役所の在り方も検討をすべきではないかと質しました。（論点は資料②を参照）

首都圏の自治体でも駅前にも行政機能を集約化させることを実施したり検討する

資料②：まちづくりと、市役所。

◎公共施設（本庁舎）の在り方の論点整理

- ①現市庁舎の現状→認識は？（コスト・満足度）
- ②市庁舎の機能→ファシリティマネジメント（縮小化？）
- ③現市庁舎の周辺と立地場所→経済性・利便性
⇒現市庁舎を移転した場合の影響→シミュレーション

コンパクトシティ型へ

茨城・・・土浦市、筑西市、結城市
首都圏・・・戸塚区、川越市（検討）
地方・・・石巻市など



事例が増えてきています。仮におおたかの森駅周辺に集約する可能性を質した答弁では「考えていない」とのことでしたが、人口動態や地域の高齢化を見据えると、様々な角度から将来の市の姿を考えていく必要があると思います。

その他の質問ダイジェスト（要旨）

- ①市の将来人口が5千人上振れをし、18.8万人になりました。過去には20万⇒18.3万人と変更してきた経緯があり、算出方法を質問。
- ②新市街地地区（おおたかの森駅周辺）の住民が急増したことにより、消防体制（中央消防署の移転）の見通しについて質問。
- ③広域的な視点でみると千葉県北西部の中心は松戸市に位置付けられています（実際に県や国の出先機関が集中）。ただ交通の利便性や地域の発展性を見据え、おおたかの森駅を中心にしていけるべきではないかと質問。

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

一般質問②

【元気な地域をつくる。】

これからの地域像について質問。今回は「夏祭り」と「地域独自の取り組みと普及策」について事例を挙げながら市の意向を確認しました。現在70か所で開催されている夏祭りですが高齢化により今後の運営を不安視する声があります。

一方で自治会の積立金を活用して地域の商店街と連携した独自の商品券を発行して自治会員に還元。大きな関心を寄せています。

資料⑥：地域力を、高める。

◎アイデアにより“地域力”を高める。

- ①自治会員・商店街が喜ぶ・・・利用率ほぼ100%
- ②自治会活性化への好機（目に見えるメリット...）
- ③課題・・・合意形成の難しさ・継続性
⇒アイデアを形にすることで“地域の活力”に！



一般質問③

【犬猫殺処分ゼロ社会を目指して...】

同伴型避難訓練と愛護条例の検討を！

過日の関東豪雨災害の際、ペットを抱きかかえながらレスキューを待つ方の映像に大きな反響がありました。今やペットは家族の一員。その流れもあり、先進地域ではペット同伴型の避難訓練を導入しています。私も以前から求めてきた経緯もあり、現段階での検討状況を確認しました。当局は慎重な姿勢でしたので、まずは先進市（逗子市）の視察を要望しました。

また世論の高まりから、市議会でも動物愛護関連の質問が目立ってきています。ただし動物行政は県の管轄であることから、市独自での対応には限界があります。もちろん“小さな命を守る”という視点に立てば、どこの所管であるかは関係なく、当市の基本姿勢（条例もその一つ）を示すべきではないかと思っています。

※正確な質問と答弁に関しては議会議事録と議会上継（録画）をご覧くださいませ。

資料⑧：動物と共に、暮らす。

◎流山市議会における質問内容（近年）

- ・殺処分ゼロ社会、新市街地での動物保護
- ・地域猫活動、糞尿対策、去勢・避妊助成関連

【流山市】
動物愛護連絡協議会の設立（H25）
Wanko'Noteの作成、講演会（H27）
市内で譲渡会を開催（民間団体）



【近隣市】※条例化の動き
千葉県・・・愛護管理条例（H26）
市町村・・・牛久市（茨城）・泉佐野市（大阪）など



【連絡先】TEL & FAX: 7155-3236
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp